

# 次期2023統一地方選へ 早折り返し

この春3・4月、早くも任期4年の折り返し、次の2023統一地方選まで残り2年となる。ここ1年半近く百年に一度あるかないか、いやそれにも増して人類近代史上稀に見る感染症、新型コロナウイルスの来襲に遭遇し、あつという間に過ぎ去ってしまった。

本誌は前回の統一地方選に関して各級選挙を直視し、そのあまりの低調さ、レベルの低さ等々に鑑み、「間違いなく空白の4年間が始まる」と総括した。実態はその通りになっている。

現実にはコロナ禍によって「空白」が想定以上のものとなり、ポストコロナもその傷跡は深く、地域全体の地盤沈下が深刻度を一層増すこと確定になっている。

よって2年後、もはや旧態依然に漫然として統一地方選を迎えてはならない。特に首長選、函館では市長選挙が極めて重要な意味合いを持つ。折り返しでまだ早いことは確かで、1年くらい前にならなければとみられるが、「空白」の有り様がひどいだけに、ここに敢えて次期函館市長選を鋭く斬り込み、次の函館市長を考察する！。(文中敬称略、本誌主幹・河野玄)

2年後、  
まして今はコロナ  
話はまだ早い  
といわれるが、  
しかしながら！。

## 考次の函館市長

工藤市長4選出馬か・否か、  
去就注視される一方、先走る

大泉潤

(あの大泉洋実兄)

保健福祉部長・

元秘書課長擁立・出馬説！

他方、「市出身者はもういい」  
「一旦休んでもらいい」この際は  
民間から市長をーの意見も！



ハコ物市政強く推進してきた工藤市長だが、ここ3期目2年手詰まり感強いという評にあるのだがー。

**工藤市政1期・2期の8年、3期目足かけ9年弱は「ハコ物」づくりを中心にかなりの実績、歴代最右翼。ソフト面でもそれ相応に評価されるが、今や「限界説」**

**昨今に至っては評判芳しくなく、人気なく、市政低迷し、庁内外から少なくないきびしい批判の声！**

次期函館市長選に対しては今日まですでに大きな2つのことが取り沙汰されている。

その第一は、まず現職、3期目にある工藤寿樹市長（現在71

歳）の去就についてである。

工藤、現在3期目10年を経

過した。10年前の初戦、当時

の現職・西尾正範（72歳、当

時62歳）を破り、初当選し

た。工藤70、739票、西尾

57、346票であった。

西尾、工藤ともに、函館市の

先輩、井上博司市長（1999

年4月〜2007年4月、2期

8年、一昨年亡くなった）のもとで助役（副市長）であったが、

工藤よりも先に抜擢された西尾は現職の井上に反旗を翻し、引き立ててくれた恩人である井上

に対して「経済界などと癒着、結託して市政運営をしており、

市は閉塞状態に陥っている」などと訳の分からないことを言っ

て、バカ騒ぎの「扇動選挙」を展開し井上の3選を阻止、市長の座を奪い取った。

これには市職労や北教組などを中心とした労働組合が加担した。

しかし、4年間の西尾は市長として著しくガバナンスに欠

如、政策らしい政策もなく、実行力もなく、何一つ実績を上げ

ることなく、市職労とのなれ合い、なあなあで長年に渡って各

種手当てをお手盛りし続け、膨れ上がった給与体系を全く

見直すこともなく、逆にカネが足りなくなっただけとも簡単に

借金を重ねて財政も悪化させ



# ズバリ核心を突く／徹底深掘り

た。選挙で自分を押し付けてくれた教育界、北教組を意識して、各学校にカネをばらまくという極めて幼稚な愚策を繰り返す始末でもあった。要はやったことと言えば、小手先のちゃちなバラマキだけで、1期4年間函館市政は見事なまで停滞した。

この上で再選を目指したが、工藤の前に敗退した。1万3千票の差で工藤に負けたが、内容としては完敗に近いものとなった。

戦後の函館市長公選（1947年以来）では今日まで9人の市長を数えるが、西尾は、1期途中の3年間で市長の座を投げ出した柴田彰（1983年5月～86年5月）とともに、「最低・最悪の市長」といつても過言ではない。停滞、無為無策どころか、財政を悪化させた。職員の給与体系の見直しなど行うことなく、高い給与を払いながら赤字穴埋めのために毎年30億円の借金を重ね、4年間で100億円強の借金を作ったのである。

これに対して「改革と挑戦」を掲げ、西尾を退けて登場した

工藤は西尾とは打って変わって、1期目から2期目、3期目足かけに至る9年間とにかく施設づくり（ハコ物）を中心に相当の実績を上げてきた。

工藤は財政畑が長く、財政事情に精通、西尾とは天と地ほどの差があり、健全化を進めた。

ハコ物の最たるものは「函館アリーナ」であり、これは市史上に輝く多目的大型施設といってよく、アリーナとともに、北海道新幹線新函館北斗の開業見据えた函館駅前再開発の旧和光ビルの建替、16階建て複合型商業施設「キラリス函館」と、これに続いた中心市街地再開発としての旧グルメシティ五稜郭ビルの建替、地下1地上19階建て「シエスタはこだて」（地下1～地上4階商業施設、5～19階分譲マンション）の建設に着手した。

以降、JR函館駅前では市有地における複合商業施設「ハコビバ」の建設・開業も実現している。

これらより先には1期目で「函館国際水産・海洋総合研究センター」を開設し、昨年春に

はコロナで再開はオープンがかすんでしまったが、市民会館の大規模改修を成し遂げた。

また「コンテ日吉」の問題が表面化したのが、市内日吉町における一大福祉施設「福祉コミュニケーションエリア」整備事業も進めた。すぐ近くの北高跡地では「函館フットボールパーク」の整備・開設も行っている。

旧亀田市街地の中心、赤川通り・産業道路交差点近く、かつての函館市亀田福祉センター跡には多世代交流の新たな拠点、コミュニティセンターとして「亀田交流プラザ」を建設した。

老朽化していた亀田福祉センター



函館が誇る多目的大型施設・函館アリーナ



JR 函館駅前では再開発が果敢に行われ、外来の大型ホテル建設ラッシュも進んだが、依然として活気はまだまだ一。

で極めて強い手腕を披瀝してきている。  
これらの実績は戦後歴代の9代の市長の中で最右翼といっても過言でない。

◆ ◆

そして、ソフトの面だが、工藤市長は結構「機を見るに敏」で、この点でも評価されようか。その最たるものは「大間原発」に対する果敢な対応、取り組みで建設の無期限凍結をいち早く打ち出し、東京地裁に訴訟を起こした。このことは極めて高く評価され、全国的にも関心を呼ぶものとなっている。

今なお延々と裁判中にあり、この原発問題は政府与党・自民党が、東日本大震災・福島第一原発事故というあれほどの大事故が起きながら、エネルギー政策を大所高所から展望せず、転換せず、再稼働を容認、全く煮え切らない。

地裁で堂々と訴訟を起こしたことは「市民・地域住民のいのちと暮らしをまもる」という観点から全国的にも評価されている。

初当選してすぐに着手した財政健全化は無論、2016年3月26日開業した北海道新幹線新函館北斗に向けての対応、百年に一度といわれる感染症・パンデミック、新型コロナウイルスで吹き飛び、蒸発してしまったがインバウンド、観光誘致の取り組み、函館アリーナ開業に際してGLAY公演への後押し、そしてハーフマラソンを地元経済界とともにフルマラソンに発展させた「函館マラソン」の創設など列記され、函館の基幹産業の一翼を担う水産加工ではスルメイカの極端な不漁による業界の大変な苦境への対応も上げることが出来るようか。

◇ ◆ ◇

このように、3期目折り返しにある工藤市政の10年間、コロナの襲来で正確には足かけ3期9年間といつてよく、かなりの実績を上げてきた。

しかしながら、このこととは

はじめ、亀田青少年会館、亀田公民館、美原老人福祉センター、美原児童館の5施設を統合、総事業費約30億円を投じた大型総合施設であり、函館アリーナもそうだが、建設するなら中途半

端なものにしないという工藤市長の確たる方針を具体化したものとなっている。

このように、工藤市政の3期目に及ぶ約9年間のハコ物整備は大変な進展を見せ、ハード面

# ズバリ核心を突く／徹底深掘り

別に、工藤市長に対する昨今の評判はズバリ言って芳しくない。庁内における関係者、事情通の話を総合し、状況をみるに、職員全般との関係、距離感、また市議会・各派との関係、評価はよくない。1期、2期目と順調にきたが、3期目に入ってから庁内評は格段に下落し、この1年間は新型コロナウィルス感染症という未曾有の事態にあつて「市長としての顔が見えない」と総じて評判はよくない、人気がない。「何をやっているのか」「やる気があるのかないのか」などといった厳しい声が少なくない。

それと、中心街再開発ビル、JR函館駅前再開発ビル、等々とハコ物を次々と具体化してきたが、実態的に活性化・再生の起爆剤になっていない現状から実績が霞んでいる背景もある。

建替・再開発複合ビルは建てたが、如何せん地元企業が疲弊し、地盤沈下が激しく、後が続かず、設備投資は皆無に等しく、盛り上がりがない。出てきたのはインバウンド目当ての「異常な進出ラッシュ」ともいえる外来



函館駅前地区に次ぐ中心市街地活性化・再生を目標に本町・五稜郭地区でも再開発複合ビルの建設が行われたが、如何せん民間サイドの設備投資が皆無に等しく、不幸にも逆に新型コロナウィルスショックで街の衰退が加速する。

チェーン・業者による大型ホテル建設ばかり。それもコロナで吹き飛ばす様相を見せている。地元の悲願であった青函トンネル有効利用を題目とした北海道新幹線新函館北斗も開業をみた、利用・活用は極度に低迷

し、目立った効果を見せていないことも上げられる。これらのことは工藤市長には大きな誤算であり、庁内外では「どうしたものか」とか「やる気を失っているのではない」との見方も行われている。

冷暖房・空気調和換気・給排水 設計・施工

## 株式会社 ニシカワ産業

代表取締役社長 西川 清一

〒 041-0801 函館市桔梗町406番地の41

電話代表 (0138) 47-1875

F A X (0138) 47-1876

# 歴代4選市長の矢野、木戸浦 ともに最後は不本意な市政。 工藤市長は「迷っている？」

こういった中で工藤市長が4選出馬か否か、今限りで退任するかどうかの去就問題が取り沙汰されている。

4選出馬となれば、4期目当選をしたもののこの後1年足らずで重い病気で退任止むなしになった木戸浦隆一（1086年

5月～1999年4月、4期13年）以来で、この木戸浦以前は矢野康（1967年5月～1983年5月、4期16年、道庁出身）であり、戦後（公選）9代を数える市長の中で3人目となり、長期市政を臨む第一歩となる。歴代市長で4選以上はない。

ちなみに歴史を振り返るなら、この4選後の函館市政はどうであったか。木戸浦市長は病で倒れ、矢野は4期16年間で全うしたが、最後は見るべきものがなく、退任後、第3セクターの函館空港ビルディングの社長、

加えてこれは地元民間金融機関ではあったが、函館商工信組の理事長に就任するなど「私服増やし」のような2大天下りをするに至ったこと等々から、強い批判を受けることとなり、後味悪い格好で函館を後にして札幌に帰るハメとなった。

4選出馬。まだ記憶に新しいこととしては北海道知事選挙を上げることができ、高橋はるみの4期16年間があるが、これについても高橋道政4期目は重要課題の先送りに終始し、今日さしたる見るべきものはなかったとの評価が大勢になっている。

高橋は首尾良く「念願」の参院議員（道選挙区）に転身した。それはそうと、工藤の4選出馬はあるかどうか。まだ3期目の折り返しであって任期のど真ん中であり、無論のこと工藤自体何も言っていない、ましてや歴史的な感染症コロナ真つ最中

で当たり前の話。しかしながら、3選後今日に至る様子、推察話などを総合するに、事は重大であることから「迷ってはいるが、4期目やりたいのではないか」との憶測が強いような感じにもある。

だが、年齢は70歳を超え、2年後統一選挙時は73になる。若くはない。

## 強いリーダーシップが おかしな方向に行き、 独善的に？

なぜ評判が悪く、人気がないのか。結構はつきりしていて、あまり人の言うことを聞かない、聞く耳を持たない、自分が最高だと思っている。人の話を聞かないということに対して工藤本人は強く否定するが、結果的に全然衆知を集めようとしないうことになってしまっている。

このため、強いリーダーシップがおかしな方向に行っている様相があり、独善的になっていることがうかがわれる。

個性もあるが、このことは人間関係を悪くし、良くなるわけ

機能性表示食品

ヤクルト  
**Yakult 1000**

ヤクルト史上最高密度の  
乳酸菌 シロタ株

ストレス緩和  
睡眠の質向上  
腸内環境改善

南北海道ヤクルト販売株式会社  
北海道函館市昭和1丁目24-24  
0120-83-8960

がない。持ち前の強気がいたるところに散見され、これが工藤ならではの長所、いいところ、魅力でもあるのだが、マイナスに働いたら、決定的になる。

2年前の3選の選挙で3万票以上から3万5千票にも達しようかという思わぬ批判票をあげた。

しかしながら、「なあゝに、そのくらい批判票は…」といった調子できている。

優秀は優秀である。マチの

トップ、政治家として押し出しもいい。惜しい…



2年後の函館市長選擁立・出馬説が先走る格好で出ている市保健福祉部の大泉潤部長だが。

## 大泉擁立に積極的な有力経済人ら 超有名人気タレントの実弟・大泉洋がいる ことから「誰が出てきても勝てる」 市議会関係筋大泉擁立・出馬説に「すでに既定路線化している」云々だが…

工藤市長の去就が注目される一方で、次期函館市長選を巡ってすでに出てきている話が工藤市長の下で秘書課長を務め、保健福祉部次長、観光部長を歴任し、2019年5月より保健福祉部長に就任している大泉潤（54歳）出馬説だ。

この出馬説は工藤市長3選後ほどなくして地元経済界の著名な有力経営者とその周辺から出て、「工藤は現在の3期で終わり、後は大泉」という擁立話になっていく。話は結構具体的にこうだ。

と目され、無投票工藤3選かと思われた。

ところが、選挙一カ月ばかり前の土壇場になって、全く無名の市内の主婦が名乗りを上げ、一気に選挙になった。手を上げたのは元弘前大学医学部保険学科准教授であった武田春美（当時64歳）という主婦で、人脈等々何も無いド素人。選挙は右も左もわからない。

結果は現職・工藤6万9、458票、新人・武田3万6、874票で、何と土壇場出馬の主婦が約3万7千票という驚きの得票をした。

その差は3万2、584票。50%を切るという超低投票率の中での武田主婦の好得票で、「工藤批判票」と目されるもので

あった。

加えて、この市長選で白票などの無効票が約2、700余りも数え、言うならばこの無効票は「工藤にも、ましてや武田にも入れたくない票」とみられ、これを足すと「工藤批判票」は3万5千を超えるただならぬものと指摘できた。

これらから大泉擁立を打ち出す関係者は、「ド素人もいい無名の主婦に3万以上も取られる工藤ではもうどうしようもないだろう。工藤は今期で終わつた方がいい。今や評判もよくない」「後は大泉がいい。早稲田大を出ているし、おんちゃん（弟）は超有名な大泉洋。対抗馬に誰が出ようが、勝てる」

と言い、さらには、「次の選挙の半年くらい前には市を退職させ、選挙運動させる」と語った。

大泉擁立を打ち出している関係者の中心人物は公明党に非常に近く、根回しなどには自信を持っていて。

市議会有力関係者筋では、「大泉擁立、出馬説はもう既定路線化している」などと話す向き

になっている。

当の大泉潤は「全く考えていない」と苦笑いしている様子で、『弟の七光り』で名前出しているだけで「ただ知っているだけです」などと煙に巻いている。

大泉は学歴こそ早稲田卒だが、はつきり言って実績等は工藤など歴代市長の前歴等に及ぶべくもない。存在感自体まだまだと言っても差し支えない。

医療・福祉・介護問題が加速する高齢化社会の中でクローズアップされ、函館は特に高齢化率が非常に高く「年寄りのマチ」であり、保健福祉部長は要職だが、大泉は市内日吉町における一大プロジェクト、福祉総合施設ゾーン「福祉コミュニティエリア」の建設に際し、当時保健福祉部次長として業者選定などの重責を担った。



超人気タレント・大泉洋



函館市日吉町の一だ福祉総合施設ゾーン「福祉コミュニティエリア」（愛称コンテ日吉）だが、選ばれた事業者グループの代表が開業スタートから夜逃げし、ついには倒産した。

しかし、この「函館日吉コミュニティエリア」（愛称・コンテ日吉）を推進する事業者にプロポーザルで選んだグループ（全部で12者で構成）代表法人が医療法人社団善智寿会、いわゆる飯田内科・（株）ハーモニーで、これが何と開業スタートと共に、代表者（飯田理事長・飯田病院長）がとんずらし、大騒ぎ。開けてみれば善智寿会・飯田内科グループは大借金の山ということであつた。破綻1直線。負債総額32億円超の倒産に至つた。

鳴り物入りで具体化した福祉コミュニティエリア整備であつたが、一体何であつたのか。何がよくて借金の山の善智寿会・飯田内科グループを選んだのか。いい加減な業者選定、市の見る目の無さを露呈するものとなつた。この間、国、道そして市と莫大な税金を投入してき

た。大泉は当時の部長（定年退職済み）と共に、管轄の市保健福祉部を担っていただけに、コンテ日吉の破綻・倒産、事業ストップ状態の收拾を図るべく観光部長にあつた大泉を工藤市長は保

健福祉部長に横滑りさせ、「整理・整頓してみろ」（事情通談）と相成った。工藤の「深謀遠慮」「したたかさ」は相当なものとささやかれてもいる。

善智寿会を代物なる「函館みらい会」などに名所変更し、再

生法にかけ、コンテ日吉は取り繕って曲がりなりに運営している様子にあるが、「いつどうなるか分かったものでない」（同）という有り様できている。

しかるに、厳しく言うならば、今の保健福祉部長などというポ

ストは「出世ポストの一つ」など云々、内情を知らない者の戯言に等しい。

後で触れるが、「大泉擁立などはまだまだ早い。まだ研鑽を積まなければ……」という見方も少なくない。

弟が超有名タレントの大泉洋。札幌を足場に東京に進出し、お笑い、映画にと表大舞台でモテモテ。だが、これだけでいいハズがない。何をするのか、やりたいのか。考え方はどうか。資質はどうか。いろいろあるう。

## 賛否割れる工藤4選出馬・去就問題 工藤4選出馬となると、地元経済界・商工会議所推薦確実視

現職工藤対新人大泉なら、またまたまたの函館市役所「幹部上がり対決」の可能性も

**道新幹線札幌延伸時、函館駅―新函館北斗駅間JRから経営分離され、函館駅はJR函館駅でなくなる等々のとてつもない大問題が待っている。出馬しても一体何をやるか・やれるかだ！**

またしても次期市長、ポスト工藤を市役所からという話だが、工藤4選を推す向きも強いものがある。

それは経済界などで主流、すなわち函館商工会議所首脳、中核で、「承知のように工藤は実績も十分であり、今の函館で工藤の右に出る者はいない。次もやってもらわねば」としている。

工藤の去就、4選出馬は、「工藤自身が次もやる・やりたい」となれば、今日の情勢では経済界最高首脳らの様子、意向からして函館商工会議所が推す形になるだろうと目される。

ただし、一致して「工藤4選でいい」となるかどうかは疑問が残るところで、「2期までの実績は認められるが、3期に入ってから首をかしげたくな

る」といった受け止め方は少な

くない。大きなハコ物づくりが一段落し、次に西部地区再開発を打ち出してきたが、「ピョンとこないのではないか」などと大して評価されていなく、加

えて、新型コロナウイルス対応でも「工藤市長はどうしているのか?」「何をしているのか」等と「顔が見えない」といわれ、このことは一般市民の間からも

多く聞かれる。

4選出馬は商工会議所は推すとみられるが、さて広範囲なものになるかは分からない。「3期12年間で十分ではないか」、昨今はすでに市民の間で「飽き」

がきていることも紛れもない実態であり、これらのことを工藤がどう感じるか注視されよう。かつて、道庁、すなわち当時水産が北海道第一次産業の大黒

# 「構想力」「多様な発想」乏しい市長は不要！ これまでも増して非常に厳しくなる函館



大都会ならいざ知らず都市中心部から18<sup>km</sup>も遠くに設けられた新幹線新駅は新函館北斗において他には例を見ない。今となつてはまさしく後の祭り。積雪で雪に埋もれる新函館北斗駅（2月4日）。改善すべきことは山ほどあが、どうにもならない。

柱であった時代の道水産部長から函館の経済界の強い要望で迎入れられ、圧倒的支持で4

期16年間やった矢野康市長が、小生に度々言っていた。「やめる時が一番難しい」と。後継に誰を託すという

ことでも悩み、最後は終始秘書を務めていた側近中の側近であった柴田彰を立てた。無論柴田は当選したが、結果はどうであったか。ここで改めて言うまでもない結末をみた。

長年にわたつて首長、政治家の出処進退を見てきたが、やはりグズグズしたり、もう一回などがほとんど、全部と言つてもよいが、結末はパツとせず、後味悪いケースであった。退任するときはず

ばつと辞める、これが出処進退の美学のような気がする。「退」に人間の出来、不出来が

はつきりと出るという本を読んだことがあるが、まさにそうだと。

一方で、大泉潤だが、これまで広範囲に推すことになるかどうかは今の段階でまだまだ先は見えない。大泉が能力的にどうなのかということも含めて先は「全く未知数」であろう。

工藤が4選出馬し、大泉も出るとなれば、またまたまたの「市役所出身者対決」になる。その可能性は否定できない。二度あることは三度あることになりかねない。

工藤は70を越え、今や人気がない。「励ます会・語る会」などやつても最後まで残る人は激減してきている。ズバリ大泉と戦ったら、まだ中身のサツパリ分らない、未知数の大泉だが、選挙はかなりの苦戦になるだろうと思われる。

その前に去就をどう判断するか。1期、2期と実績を上げ、道内でも優秀な市長であったが、ピークは過ぎ去った。2年前の選挙結果がそうだし、昨今市民はきびしく見ている。



# ズバリ核心を突く／徹底深掘り

ときに、工藤の4選出馬云々にせよ、大泉の出馬説にしても、一体何をやりたいのか、函館をどうしたいのかが最大の問題で、きびしく問われ、また当然問わなければならない。これが一番大事なことだ。

井上2期、西尾1期、そして工藤3期と合計6期、24年間にわたって市役所からの市長が出て、そして次もまた市役所からというこでいいのかどうか。人材が見当たらないから仕方がないと言えはそれまでだが…。

観光、観光、そして観光、観光、流動人口・流動人口で来た函館だが、コロナでひどい状況に突き落とされ、先が見えない状態になっている。

コロナ克服は成るであろうが、この先・近い将来をみても、大問題が待っている。

人口減少は止まらず、今年中には25万人を下回る。10年後の北海道新幹線札幌延伸には22〜23万人になる。下手をすれば20万人少しになるかも知れない。

この中で中身は年寄り有一段と増え、生産年齢人口は60くら

いになるのか。3人に1人程しかまともな働き手がない地域社会にもなる。

札幌延伸によって函館本線がどうなるか、函館市と道南の沿線の町がどうなるか。東北では新幹線がビジネスなどに大きく役立ち、首都圏との交流、関係を強くし、企業進出・工場立地など目を見張るほど進み、一方で従来の東北本線がJR東日本が有力企業で強力であることから三陸など一部第3セクター化の一方で維持され、活用されてきている。

しかし、北海道の場合、函館本線は赤字路線でもあり、JR北海道が名だたる弱体企業体でもあることから切り離され、経営分離・第3セクター移行になる。

特に、札幌延伸時、函館駅・新函館北斗駅間のJRからの経営分離が確定済みで（2011年12月函館工藤市長同意）、このことは函館駅がJR函館駅でなくなる。函館・新函館北斗間は「はこだてライナー」が走る単なるローカル線になり、新幹線時代函館がそれで甘んじてい

いのかということだ。

一気に函館駅は取り残され、「素通り」を強める。この対応策全くの無策できている。

この第3セクターをどのようにするか。この経営・運営は大赤字必至の下でカネをどうするかということが大問題になる。函館本線は今でも函館〜長万部66億円をはじめ、全線で普通列車だけで約80億円の赤字、加えて設備の老朽化が進んでおり、今後設備、車両の更新費用に総額で183億円がかかるとされている。この更新費用、将来性があるならまだしも利用の低下は明らかであるところから、投資効果はないに等しい。こうして函館本線の経営分離・第3セクター移行はとてつもない大問題として待ち受けている。

水産と加工業の行方も不透明で悲観的とされ、観光にしても先行きどうなるか確信が持てない。コロナ収束後、以前のようにインバウンドが完全復活し、順風満帆と行くかどうか、そうとも限らないだろう。

道新幹線の札幌延伸によって函館の存在は希薄になるこそ、

重きをなすことは全く考えにくい。函館駅が新幹線に直結してないことが将来的に致命的になる可能性は極めて強い。

新幹線が函館駅（五稜郭駅でもよかつたのだが…）に乗り入れ出来なくしたことは、「歴史的な大失敗」と断言できるし、新函館北斗開業後、札幌延伸が進行中のこの5年間、「函館を素通り」が現実になるのに何も対策をしようとせず、「何とかなるさ」できていることは更なる「歴史的な大失敗」「歴史的無策」を後世にさらけ出すことになるであろう。

函館の今後を考えたとき、大きな柱は一つに観光産業、次に先行き非常にあやしくなっているが水産加工業。そしてこの2つに加えて、大きな柱にすべきは、デジタル分野、IT・AI・5Gや6Gによるデジタル産業、デジタル対応都市、DX活用の「スマートシティ」にすることだと考える。

デジタル分野では「はこだて未来大学」他があり、有力企業として「エスイーシー」も存在する。やろうと思えばできる。



未来大など学長以下何を考えていると言いたい。山奥から中心市街地（それ相当規模のサテライトなど作るべき）に出てき

て、シヤンとして地域貢献すべきた。観光、水産、デジタルの3分野が函館の生きる道ではない

10年後の北海道新幹線札幌延伸開業時、大きくその存在が問われることになる現函館駅。今も新幹線新函館北斗駅前まで20分近くも要するなど問題多いが、札幌延伸時にはそれどころか函館駅・新函館北斗駅間の民営化で単なる「ローカル線はこだてライナー函館駅」となって、北海道新幹線時代函館駅は取り残され、「素通り」を強める。対応今もって無策できている一

か。

年寄りのマチも、少数精鋭のIT・デジタルを担う若い人がいれば十分に機能する。デジタル都市を目指す。

まずデジタルモデル都市を希求する。

IT化についてあえて言及するならば、今の函館市役所などはひどすぎる。一例として印鑑証明・住民票等々の窓口などその有り様は何だ。全部IT化しろと言いたい。法務局など1、2分もかからないで証明書が取れる。それに比べて、市の窓口はひどすぎる。即刻IT化したらい。旧態依然甚だしく、窓口の前には邪魔で不細工な女職員が「何の証明書取りにきたか。届け出は何か」

などと立って、寄ってくる。無駄な人間を配し、どうなっているんだ。頭がおかしいのではないかと言いたい。

次の函館市長はこれらのことをやる人・出来る人、特に、IT・AI・デジタルを十分理解できる、分かる人でなければならぬ。福祉なんかは誰がやっても当たり前やらなければならぬ。デジタル社会を押し進めることで、地域高齢化、年寄り社会を克服、機能できるようにすることだ。

このデジタルを進めることでこの分野の若い有能な人材が集まるようにする。

ついでに言及するが、函館国際海洋都市構想というのがあった。「函館国際水産・海洋総合研究センター」が弁天町の旧函館ドックの用地に作られたが、一体どう機能しているのか。学術研究都市を目指すという鳴り物入りで税金が確か100億円前後、それ以上も投じられたが、地域に役に立っているのかどうか。実態は何もかにも中途半端できているように思われる。実に嘆かわしい。

## 成長せず・進化せず、実に嘆かわしい ほど「人」がいない函館・道南！ まさしく「人材砂漠」の有り様

こういう時にこそ、激変の時代にこそ、「俺やる・私がやる」という気構え  
・新発想ある人が出なければならぬのでは。残り2年すぐにやってくる！

### コロナでますます地域衰退・地盤沈下「経済砂漠化」へ

工藤4選出馬か、大泉擁立か、  
といった市役所出身の市長継投  
話とは別に、「2023年の次  
期市長選は函館市役所ではない  
人を」という意見もある。

民間出身(会社経営から市議  
道議)の木戸浦の4期13年以降、  
井上博司2期8年、西尾正範1  
期4年、工藤寿樹3期12年と計  
6期、工藤の任期満了で24年間  
にわたって市役所から市長を出  
してきた。

それを「一旦止めた方がいい  
のではないか」というわけだ。  
「木戸浦4選13年間のあと約四

半世紀、市役所の役人が市長に  
なってきたが、函館市の置かれ  
ている状況はこれまでと変わっ  
て一段ときびしくなっている。

役人感覚、もっと言えばいわゆ  
る役人の考え方ではこれからの  
函館を切り拓いて行けないので  
ないか」「井上、西尾、工藤で  
もう十分だ」

極めて人材難ではあるが、新  
発想、激変の厳しい時代に即応  
した民間から候補を擁立すべき  
だとの意見。

では次の市長にふさわしい人  
材はいるかだ、それが今しまっ

たことではないが今日の函館に  
は嘆かわしいほど人材が見当た  
らない。

他都市、道内でも市議会議員  
であったり、道議会議員であつ  
たが、この人はどうかといえるも  
のだが、これが全くダメ。どう  
してこうなのか。要はぱつとし  
ない者しか人ばかりで、アイデ  
アの一つもない。

函館生まれで、東京や札幌の  
大学を出て、郷里函館に戻って  
きている人のほとんど、全部と  
言っていいたるうが、家業を継  
ぐために帰ってきている。

それも、「中には少しはいい  
のがあるが、ごくわずかで、経  
済界、経済人を見るにほとんど  
レベルが下がっている」「将来  
性ありそうな若手はいるが…」。  
これが現実で、事実これぞ経済  
人、実業人と目される人は極め  
て少ない。次々と死んでしまつ  
た。かつては個性ある多彩な事  
業家・経済人が相当たっていたが今は  
数えるほど。全体的にレベルが  
下がり、層が薄くなっている。

この点、政治家にしてもそう  
で、全く人材に乏しい。本誌は  
2年前に統一地方選が終わり、  
総括・言及する中で、「空白の  
4年間は始まる」と指摘した  
が、このことであって、この2  
年間を見ればことは明らかにそ  
うなっている。例え、選挙に度  
に選挙公報が市内全戸に配られ  
るが、これをみても呆れかえる  
ほどひどいものだった。なんだ  
これはであった。考える能力が  
ない、考えることすらできない  
部類が多々あった。よって、た  
だ時間が過ぎ去って行く。

函館は地盤沈下著しく、コロ  
ナで一段も2段もダウンするこ  
と確実になっており、「砂漠化

# ズバリ核心を突く／徹底深掘り



昔の青函連絡船時代は本州を往来する貨物列車など並び、北海道の玄関口として活況を呈していた函館駅裏手・海側の広大なヤード。北海道新幹線が乗り入れていればこんな殺風景な光景ではなかったはずだが…札幌延伸後、函館駅はJR経営から切り離されローカル駅となる。

している」が、「人材砂漠」も進んでいる。政界、経済界がダメなら、ほかはどうか。これまた、教育界

ほか、各界もレベルが低下している。労働界もひどく、ここ4〜5年で一気に質がダウンしているといえる。

要は物事に対する考え方が進化、成長しないでできてしまった。全て一番大事なことは「考え方」がどうかということであり、これがないと成長してこない。だから「人材砂漠」だけが進んでいると指摘せざるを得ない。

こういう時にこそ、激変の時代にこそ、俺やる・私がやるという気構え・闘志ある人材が出なければならぬ。

いわゆる「異業種」から発想豊かな人がマチのトップになることがあってもいいのではないか。学歴など関係ない。

コロナ禍の中で折り返しただが、「よし俺がやる」「挑戦したい人」は今から準備したらいい。土壇場になって出てきて1対1の市長選など愚の骨頂だ。市にいても他の幹部なども果敢に出てきて複数の真剣勝負になることもあっていい。

次期市長選は函館の今後を決める歴史的に極めて重要な選挙ではないか。言っちゃ悪いが考え方がパツとしない市役所の役人の繰り返しだけの市長選では話にならない。

親切・丁寧・安全をモットーに、楽しく学びながら免許取得ができます。

教科科目／普通車・大型特殊・自動二輪

函館方面公安  
委員会指定

## 道南自動車学校

函館市金堀町5番18号 電話(0138)51-5612

詳しくはホームページで <http://www.donan-ds.com>